

## MAGAZIN | NEWS

25.06.2021

### スペイン ガピプラス社

#### 既存のW&H社製ブローフィルム成膜機OPTIMERXに、高性能エアリングのレトロフィット改造

ガピプラス社からの要請は、フロアスペースを追加することなく、品質レベルを維持しながら、出力(時間当たりの生産量)を増やすことでした。エアリングに関する新しい開発技術が役に立てそうな事を認識したうえで、W&H社はこの課題を受け入れ、プロジェクトを開始しました。

#### プランの作成

まず最初に、2018年の終わりからガピプラス社で稼働している(すなわち比較的最近設置された)、W&H社の3層ブローフィルムラインである、OPTIMEXのパフォーマンスデータが収集・分析されました。もともとデュアルリップエアリングを装備しているこのマシンは、バブルの安定性が出力向上の際の主な制限要因としてあるものの、保証された出力以上で動作していました。押出機とダイヘッドには十分な余力があるように見受けられ、新しくより強力なエアリング技術を使用した場合、パフォーマンスをさらに向上させる可能性があることが認められました。W&H社の専門家による主な製品のレシピとパフォーマンスデータの分析からは、少なくとも+ 10%の出力増加が可能なが確認できました。これは、ガピプラス社がこのプロジェクトの成功を予見するうえで、非常に興味深いものでした。



さあ、性能を立証する時が来た

必要部品の納品後、関連するエアリング部品の交換は数時間で完了し、ラインは冷え切ってしまう暇もなく再起動されました。従来ダイヘッドの直上部に取り付けられていたMULTICOOL-デュアルリップエアリングは、改造されより高い位置で動作するようになりました。ガピラス社には、このレトロフィット改造から可能な限り最高の結果を得ることが出来ました。全てのオペレーターに、新しいテクノロジーに精通してもらうために、今回のレトロフィット契約にはW&Hサービスチームによるトレーニングが含まれていました。バブルが立ち上がった直後、バブルの安定性が確保されていることが明らかになりました。W&H技術者の指導の下、新しく構成された装置は速やかに最大出力になるように調整されました。最も難しい製品(柔らかい材料を使用した非常に厚いフィルム)も、約束された+10%の出力増に達しました。更に殆どの製品で、+20%の出力増を実現できることが確認できました。

なんと素晴らしい成功なのでしょう！



### 優れた性能を更により良く….

この手の改造を再度行うかもしれません。W&H社のR&Dチームによる継続的な開発努力は、アップグレードされる候補となるフィルム成膜ラインが2年前に稼働を開始した新しいラインにもかかわらず、このような機会をもたらしてくれます。ガピラス社のチームは、今回追加を行ったW&H社の新技術に心から満足しています。このような新しいエアリング技術を古いラインに後付けすることで、さらに高い出力増強が可能になります。もちろん、押出機やダイヘッドなどの他のすべての関連するコンポーネントには、エアリングの改造によってもたらされるバブルの安定性向上に対応するために、十分な予備容量を持っている事が必要です。この点が事前にチェックされていたため、今回の改造は最小限のリスクで行われ、満足以上の成果に、お客様は満面の笑みを浮かべることが出来ました。

### GAVIPLAS S.L.(ガピラス社)とは

ガピラス社は、1962年にバレンシアのアルファラシで設立された、現在も家族経営の会社です。同社は、最新のテクノロジーの採用と従業員の並外れたモチベーションを通じて得られた、最高水準の品質を備えた効率的な軟包装を生産する、革新的なソリューションに注力しているコンバーターです。

W&H社製品の国内お問い合わせ先:



株式会社イリス

TEL: 03-3443-4280, e-mail: [Japan-mp3@illies.com](mailto:Japan-mp3@illies.com)

HP: <https://event.irisu.jp/windmoeller-hoelscher-extruder/>